

教育学研究科・心理発達臨床専攻 アセスメントプラン

1 アセスメントの目的

学生や社会の状況を捉え、データに基づくカリキュラムおよび個々の授業、そして学習支援の改善を継続的に行うことを目的として、学修成果のアセスメントを行う。アセスメントにあたっては、直接評価と間接評価の双方を取り入れる。前者については成績や学籍異動の状況に関するデータを収集し、後者については全学生に対して毎年実施するアンケートを中心にデータを収集する。アンケートについては縦断的な調査を行うことにより、総体としての学生の状況だけでなく個々の学生における能力や学習状況の変化を追跡する。これにより、個々の学生に対する学習支援の改善を行う。さらに、成績評価の結果や学籍異動の状況に関するデータと併せて分析することで、休学・中退や成績不振の予測などへの活用を図る。

2 達成すべき質的水準

達成すべき質的水準は、以下教育学研究科・心理発達臨床専攻のディプロマ・ポリシーにおいて定めている。

(知識・理解)

DP1. 学校や地域における臨床心理学的支援に必要な、生涯発達・教育、臨床心理学、精神保健医療に関する専門的知識を習得している。

(技能)

DP2. 学校や地域における教育的支援、臨床心理学的支援にかかわる高い技能を身につけている。

(思考・判断・表現)

DP.3 生涯発達と教育、心の健康にかかわる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考え、高度な実践力をもって臨床的支援に取り組むことができる。

(関心・意欲・態度)

DP4. 心の健康に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

3 アセスメントの方法

No.	名称	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	手法	実施責任部署	結果の活用方法
1	修了予定者の進路状況調査	毎年1回	2年生	修了者の進路（心理職就職率）	修学支援システム登録	教育学生支援部就職支援課	入試改善，授業方法やカリキュラム改善，自己点検・評価に活用
2	修了生追跡調査の依頼	毎年1回	2年生	・修了後の個人情報（メールアドレス）提供の依頼 ・臨床心理士・公認心理師資格試験受験後の合否報告 ・就職先の職場紹介等	メール	心理発達臨床専攻運営会議	入試改善，授業方法や実習カリキュラムの改善，就職支援の充実，
3	修了生調査	毎年1回	修了後3年経過の卒業生	現在の就業状況，大学院に対する満足度，大学院で身についた能力，授業や教育プログラムへの意見・要望	Webアンケート	教育・学生支援機構	教育・学生支援機構が教育学生支援鍵に報告し，報告し，就職支援の充実，自己点検・評価，情報公開に活用
4	DP対応授業評価	毎学期の終わり	全学年	受講した授業のDPへの適合度等	Webアンケート	教育コーディネーター	授業方法やカリキュラムの改善，自己点検・評価に活用
5	実習施設担当者が行う実習生の評価	前・後学期	2年生	職務内容理解，実習態度，人間関係の観点から5段階評価	質問紙	心理発達臨床専攻運営会議	授業方法や実習カリキュラムの改善，自己点検・評価に活用
6	リサーチ・ループリックによる評価	毎年2回	全学年	修士論文に関わる研究の到達度の達成度	エクセル	心理発達臨床専攻運営会議	修士論文指導の改善，自己点検・評価に活用 形成的評価と到達度評価の両方において活用
7	教育学部学生モニター会議	毎年1回	全学年 (学生代表者)	学習行動、授業・カリキュラム満足度	集会	教務委員会	授業方法やカリキュラム改善，学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価に活用

下の表は、あなたがご自身の修士論文を自ら改善するのに役立てると同時に、指導教員(主に論文指導を担当する教員)による指導をより効果的にするためのルーブリックです。Aを最も高い水準、以下、B、C、Dと段階が設定されています。これによって、より質の高い研究に到達するために必要なことが具体的に分かります。指導教員との目標や進捗の確認、そしてご自身で研究を進める過程において、定期的にご活用ください。なお、本研究科においては、すべての項目がB以上をクリアすることを学位論文合格の基準としています。

それぞれの項目に対してあなたの研究の現状に該当するものをA~Dから選んでOで囲んでください。また、そのように評価した理由や進捗、いずれとも判断できなかった理由について右側の欄に記述してください。該当しない項目は評価理由欄に斜線を入れてください。

Table with 5 columns: 領域・評価項目, A, B, C, D, and 評価理由や進捗の説明(カッコ内は削除してご提出ください). Rows include categories like テーマ設定, 研究活動の妥当性, 研究の内容とその記述, and 成果.